

角島野草観察会

2025.07.12 (土) 実施



講師のうっ T こと内田祐介さん



クズ



ハスノハカズラ



イタチハギ



トベラ



マサキ



アカメガシワ



観察会の様子



観察園のヒロハノカワラサイコ



観察園のハマユウ



観察園のロクオンソウ
(キョウチクトウ科)



観察会の様子



7月12日(土)、うっちー先生(以下、うっT)こと内田祐介さん(北九州市白野江植物公園)を講師に、「角島野草観察会」をつのしま自然館(以下、自然館)及び周辺で実施しました。5月に予定していた「春の野草観察会」が、悪天候のため中止となりました。実は、中止となった2〜3日後、自然館前の観察園で一人たたずむ方がいらっしゃいました。「これから一人観察会をします。」と、とても残念そうに、とぼとぼ歩かれる姿を見て、「これは何とかしないと…」と思い立ち、うっT先生に相談して、春の代替えとして実施することにしました。

「暑いですね〜。夏は花がないですよ〜。」と汗だくのうっT先生。しかし、ここから講師の豊かな知識とおもしろい解説が始まりました。最初に、自然館前の観察園で、植物の分類の仕方の話があり、植物の分類の仕方が、今はDNAの遺伝情報に基づく方法に変わったことが紹介され、ロクオンソウは、ガガイモ科からキョウチクトウ科に、ハマタマボウキは、ユリ科からキジカクシ科に変わったそうです。次に駐車場を出て、ハマユウを見つけると、「今年は、花が咲きませんねえ。角島の群生地でも開花している株は数えるほどしかありませんでした。吉母の群生地に至っては、ゼロでした。」また、「今年はヨトウムシが異常増殖して、ハマユウがパンダみたいになっています。」と近年の異常気象で、植物に大きく影響していることを話されました。気温30℃を超える暑さの中での観察会となりましたが、日陰に入ると、時より吹く風が心地よく、咲いている花の少ない中でも、先生のおもしろい解説とあわせて暑さを忘れさせ、あっという間に時間が過ぎていきました。

参加者の感想に、「延期になったので、暑い盛りになってしまいましたが、植物は一生懸命生きていました。うっT先生のお話、おもしろかったです。」「野草を知れば知るほどおもしろい楽しい講座でした。植物には毒性があり、知識を蓄えるが大事である。うっT先生の野草愛を感じました。」また、小学生の感想には、「話は長かったけれど、話の内容はおもしろかった。いろいろな植物の名前などが知れたのでよかった。」とありました。講師の豊かな知識とおもしろい解説に、参加した子どもから大人まで、満足していただける観察会となりました。

なお、今年度は10月11日(土)「秋の角島野草観察会」を予定しています。地元の方々にもたくさん参加していただきたいです。

